授業科目名・形態	小児看護学実習　　実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	板東　利枝　　他	実務経験の有無	有	開講期	３年前期・後期
科目ナンバリング	N5-3004npm				

【授業の主題】

1. 小児看護の特徴を理解し、発達段階や健康レベルに応じた看護の基礎的能力を養う。
2. 健康障害をもつ小児とその家族を理解し、適切な生活環境や必要とする看護を学ぶ。

【到達目標】

1. 小児の成長・発達を理解し、発達段階やそれぞれの健康レベルに応じた援助について理解し説明できる。
2. 健康障害が小児と家族に及ぼす影響や、健康障害をもつ小児とその家族の看護について理解し説明できる。
3. 健康障害をもつ小児とその家族の看護を通して、適切な生活環境や必要な看護について考え、説明できる。
4. 小児看護における看護者の役割と態度について理解し説明できる。
5. 受け持ち患児への看護展開ができる。

【授業計画・内容】

実習計画・内容の詳細については、「小児看護学実習要項」にて明記

実習施設

1. 大館市立総合病院　小児科病棟及び小児科外来
2. 大館市立城南保育園および大館市立城南保育園子育て相談室

【授業実施方法】

臨地実習

【事前・事後学習】

事前学習課題を中心に小児看護の特徴及び主な疾患と看護を復習しておくこと。
直前オリエンテーションで小児看護に必要な援助技術を再確認して実習に臨むこと。
実習終了後は評価表を記入し、振り返りすること。

【主な関連する科目】

小児看護学概論、小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅲ（小児科）

【教科書等】

「小児看護学概論」「小児看護方法論Ⅰ」「小児看護方法論Ⅱ」および「病態治療学Ⅲ（小児科）」で用いた教科書および参考書、資料など。

【参考文献】

適宜配布します。

【成績評価方法】

実習態度等 60%および実習記録 40%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

臨床現場での小児看護経験を活かし、実習がよりよいものとなるようサポートし、学生が疾患だけでなく、成長や児を取り巻く状況も考えられるようにしたいです。

【学生へのメッセージ】

健康な子どもと健康障害をもつ子どもの違いを肌で感じてみて下さい。